

資料編

資料 1 掛川市の関連計画の概要

本計画に関連する掛川市の関連計画の概要については以下のとおり。(計画編 序章第 2 節関係)

計画名【策定年】[計画期間]	文化財に関する内容
第 2 期掛川市地域創生総合戦略 [令和 2 年度 (2020) ～令和 6 年度 (2024)]	- 重点プロジェクト「1－1 掛川流文化の創造と発信」の具体的な施策として、文化財を市民等との協働で保存修復に取り組み、積極的に活用することを明記している。 - 重点プロジェクト「1－3 市民総ぐるみのおもてなし観光誘客促進事業」の具体的な施策として、「掛川茶」、「掛川駅」、「掛川三城」、「報徳の教えと生涯学習」、「自然資源」の 5 つの地域資源を観光振興の核とすることを明記している。
掛川市人生 100 年時代構想 【令和元年 (2019)】	4 掛川市・地域社会の取り組み「人生 100 年時代の掛川市と地域社会」の具体的な施策として、松ヶ岡修復開始と現代版教養館構想の推進、歴史・文化・伝統などをつなぐ未来志向の人づくりなどが掲げられている。
掛川市 D X 推進計画 [令和 4 年度 (2022) ～令和 6 年度 (2024)]	「まちの D X」のイメージとして、様々な文化や伝統、技術、歴史的な建築物やまちなみをデータ化し、活用することが掲げられている。
第 2 次掛川市国土利用計画 [平成 30 年 (2018) ～令和 9 年 (2027)]	- 土地利用の基本方針 1 の「③歴史と文化の尊重」において、掛川城や高天神城跡、横須賀城跡、日坂宿などをはじめとする地域独自の歴史・文化と調和した土地利用を掲げている。 - 必要な措置として、歴史・文化的資源については、開発との適切な調整を図り保全するとともに、歴史・文化にふれあえる場としての整備・活用を推進することを明記している。
第 2 期掛川市教育振興基本計画 「人づくり構想かけがわ」 [令和元年度 (2019) ～令和 7 年度 (2025)]	第 4 章 社会教育の「4 郷土の歴史や文化を愛する心の育成」の施策として、埋蔵文化財の発掘調査と保護意識の高揚、文化財の調査・保護・保存・活用の推進、史跡の保護・保存と活用の推進、松ヶ岡プロジェクトの推進、大須賀歴史民俗資料館の運営の充実が明記されている。
掛川市文化振興計画 [令和 5 年度 (2023) ～令和 9 年度 (2027)]	「基本施策 3 伝統文化の伝承」において、「郷土芸能や伝統行事の担い手育成・支援」、「伝統文化を学び、体験する機会の充実」、「文化財や郷土芸能の保存・継承」を掲げている。
掛川市観光振興計画 (後期) [令和 5 年度 (2023) ～令和 10 年度 (2028)]	資源の活用や、訪れる人々との交流等により、地域の人々が豊かで幸せになることを実現するため、「施策の柱 1 体験交流と学び旅」において、三城をつなぐ学びの旅、高天神城跡の歴史体験、市民・地域ぐるみでの魅力の掘り起こし、及び受入体制の構築などの取組を掲げている。
掛川市シティプロモーション推進計画 [平成 30 年度 (2018) ～令和 7 年度 (2025)]	「基本方針 2 市民参画の拡大」において、掛川ならではの自然や建造物などの地域資源の再発見、磨き上げ、魅力の拡散を明記している。

計画名【策定年】【計画期間】	文化財に関する内容
掛川市農業振興ビジョン 〔平成 29 年度（2017）～令和 8 年度（2026）〕 （令和 4 年度改定）	第 3 章基本計画の主要施策として、地場農産物の PR 活動の推進、ため池等の整備、美しい農村景観の保全・創出、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の活用を掲げている。
掛川茶未来創造プロジェクト （掛川市茶振興計画） 〔令和 4 年度（2022）～令和 8 年度（2026）〕	「Ⅲ 茶産地掛川の持続を可能とする消費拡大策の推進」において、掛川茶リブランディングプロジェクトの推進、茶園景観及び世界農業遺産の有効活用が掲げられている。
掛川市都市計画マスタープラン 〔平成 30 年度（2018）～令和 10 年度（2028）〕	- 都市づくりの方向性として、地域資源を活かした個性的で魅力ある都市を実現するために、観光資源や歴史・文化的資源を活かした都市づくりを進めることを明記している。 - 公園・緑地等の整備・保全の方針において、和田岡古墳群の考古学公園としての整備、高天神城跡と横須賀城跡の史跡公園としての整備が掲げられている。 - 歴史・文化的資源を活用した景観の形成方針において、貴重な歴史・文化的資源の積極的な保全を図るとともに、これらの資源を有効に活用したまちづくりを推進することが掲げられている。
掛川市立地適正化計画 〔平成 30 年度（2018）～令和 10 年度（2028）〕	都市機能誘導区域において実施する施策として、掛川駅から掛川城周辺の歴史的・文化的施設が集積する地域一帯は、景観形成に配慮しながら、誘客を測る拠点づくり、横須賀城跡周辺の市街地については、昔ながらの町並み景観を保全、継承が掲げられている。
掛川市景観計画 【平成 26 年（2014）4 月変更】	- 良好な景観の形成に関する方針として、城・城跡の景観の継承、旅情を感じる旧街道景観の継承、歴史・文化的な資源の継承が掲げられている。 - 遠州横須賀街道沿道地区は、「柵里の似合う遠州横須賀街道の継承と創造」を目標として、掛川市景観条例に基づく「景観形成重点地区」に指定されている。
掛川市地域防災計画 【令和 4 年（2022）3 月】	文化財の災害対策として、市の防災思想の普及・徹底、災害教訓の伝承、文化財等の耐震対策、文化財等の応急対策が掲げられている。
第 2 期掛川市環境基本計画 〔平成 28 年度（2016）～令和 7 年度（2025）〕	- 第 4 章 施策の展開の「6 景観・歴史的環境の保全」において、文化財等の保護・保存と周辺環境の保全、歴史的環境の保全と整備が掲げられている。 - 重点プロジェクトにおいて、茶草場と調和した周辺景観の誘導、地元産の食材の紹介とこれを使った食文化の浸透が明記されている。
掛川市緑の基本計画 〔平成 27 年度（2015）～令和 17 年度（2035）〕	緑と水辺の保全・創出・活用の施策として、ため池の保全、天然記念物や大木、鎮守の森などの貴重な緑地の保全、既存集落地の生け垣・屋敷林等の保全、道標や常夜燈、また松並木など旧東海道や秋葉街道などの街道文化の保全などが掲げられている。
掛川市中心市街地活性化基本計画 〔平成 27 年度（2015）～令和元年度（2019）〕	J R 掛川駅周辺及び旧東海道を中心とした区域を中心市街地として位置付け、「まちなかの賑わい創出」「まちなか居住の促進」「まちなか交流人口の増加」の 3 つの目標を掲げ、協働によるまちづくりで新たな賑わいの創出を目指すことを明記している。

資料編

本計画に関連する市内の地名は以下のとおり。(計画編 第1章第2節関係)

図 1-1-1 本市の地名

図 市内の地名

資料3 本市の指定等文化財概要

| 本市の主な指定等文化財

(1) 有形文化財

①大日本報徳社大講堂 国指定重要文化財

旧遠江国報徳社公会堂（大日本報徳社大講堂）は、掛川城の北東に、二宮尊徳の教えを体系化した報徳思想を普及・啓蒙する中心拠点として明治36年（1903）に建設された。公会堂は、正門の奥に東面して建ち、木造2階建て、上層入母屋造り^{いりもやづく}棧瓦葺で、伝統的な木造建築の形式・技法によりながら、1階が和風、2階が洋風の特徴ある外観を持つ。



大日本報徳社

②掛川城御殿 国指定重要文化財

掛川城御殿は、嘉永7年（1854）の大地震で倒壊した後、文久元年（1861）に城主太田資功^{すけかつ}によって再建された。近世城郭の御殿建築として、全国的にも数少ない遺例であり、広間、書院の主要部だけでなく、小書院や諸役所までほぼ全体が残っているのは珍しい。



掛川城御殿

(2) 民俗文化財

①三熊野神社大祭の祢里行事 国選択文化財

三熊野神社の大祭で、神輿の渡御に合わせて祢里と呼ばれる13基の山車が氏子域を巡行し、神社の境内などで囃子を奉納する。祢里は、江戸を中心とした関東では今日ほとんど巡行が見られなくなった、一本柱万度型と呼ばれる古い形式の江戸型山車と酷似しており、江戸時代に横須賀藩主が参勤交代の折に囃子を江戸から持ち帰ったという言い伝えとの関連も示唆される。



三熊野神社大祭の祢里行事

②獅子舞かんからまち 県指定文化財

3年に一度の掛川大祭の年だけに登場する、2頭の雄獅子と1頭の雌獅子が一組になって舞う獅子舞。荘厳な舞曲にあわせて勇壮な舞が演じられる。舞とともに笛の音も固有のもので、獅子頭や衣裳などを昔のままに伝えている。

神事で、神輿渡御の際に神輿の先を進み、露払いの役を担う。また、路上を進行する際に、獅子を先導する花唄は美しく、行列に華やかさを加えている。



獅子舞かんからまち

③八坂神社の祇園囃子と祭礼行事 県指定文化財

毎年10月の第1土日に行われる八坂神社の祭典は、本殿から青谷と呼ばれる御旅所（御仮屋）にご神体が里帰りし、また戻られるという一連の流れである。また、満勝寺住職の祈祷を受けたり、祓での警護役がついたり、古式の伝統が色濃く残っている。



八坂神社の祇園囃子と祭礼行事

④大淵地区の「さなぶり」 市指定文化財

初夏の早朝、子供達が民家を訪ね歩き、豊作祈願やお祓いをする行事で、大淵8地区ごとに唱えごとが違う。一般的に「さなぶり（早苗饗）」とは、田植えを終えた祝いのことだが、大淵地区での「さなぶり」は、本格的な夏を迎える前に厄を払う神事の意味が強いと言われている。



さなぶり

(3) 記念物

①和田岡古墳群 国指定文化財

和田岡古墳群は、西部和田岡地区に所在する5世紀前後に築造された古墳群の総称で、原野谷川が形成した河岸段丘上に立地している。この段丘上の南北約2.5km、東西約1kmの範囲の中に、前方後円墳4基、円墳16基、方墳3基が確認されており、東遠地域における一大古墳群を形成している。このうち、前方後円墳4基、円墳1基が国の史跡に指定されている。最大の古墳である各和金塚古墳は、副葬品の年代から、約1,600年前に造られた首長の墓と考えられている。



整備着手前の吉岡大塚古墳

②高天神城跡 国指定文化財

高天神城は鶴翁山（標高130m）に築かれ、現在も東峰の本丸跡など主要郭の跡や空堀などを見ることができる。諏訪原城跡と並んで、戦国期の過程を理解する上で逸することのできない遺跡であり、中世山城の遺構としても秀でている。



高天神城跡

③横須賀城跡 国指定文化財

天正3年（1575）長篠合戦の勝利をうけて、同6年（1578）、高天神城奪還を企む徳川家康（当時浜松城に在城）が大須賀康高に命じて築城した。遺構としては丘陵上の天守台、本丸、松尾山北東の大空堀などがよく残っている。城郭の北、西、南を画する堀跡があり、玉石積みの石垣遺構が残っている。また隠し堀といわれる舟入状の堀跡は、入江に面し横須賀湊をおさえていた横須賀城の特色をよく示している。武田方の諏訪原城、武田・徳川方の争奪地となった高天神城とあわせ、武田方の進出と衰亡、徳川氏の成長過程を示す貴重な史跡である。



横須賀城跡

Ⅰ 市内文化財の状況

本市において、国・県・市により指定・登録されている文化財は、国指定が5件、県指定が30件、市指定文化財が70件、国選択が1件、国登録が17件の合計123件である。市内に所在する文化財の指定・登録の状況は以下のとおり。

表 市内の国指定文化財（令和5年9月現在）

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
1	有形文化財 (重要文化財)	建造物	掛川城御殿	掛川市	掛川
2	有形文化財 (重要文化財)	建造物	旧遠江国報徳社会堂 (大日本報徳社大講堂)	大日本報徳社	掛川
3	記念物	史跡	高天神城跡	高天神社他	上土方 他
4	記念物	史跡	横須賀城跡	掛川市他	山崎 他
5	記念物	史跡	和田岡古墳群	掛川市他	和田岡

表 市内の国選択文化財（令和5年9月現在）

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
6	民俗文化財	無形	三熊野神社大祭の祢里行事	遠州横須賀 三熊野神社 祭礼保存会	西大湊

表 市内の国登録文化財（令和 5 年 9 月現在）

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
7	有形文化財 (登録)	建造物	天竜浜名湖鉄道原野谷川橋梁	天竜浜名湖鉄 道株式会社	本郷
8	有形文化財 (登録)	建造物	天竜浜名湖鉄道原谷駅本屋	天竜浜名湖鉄 道株式会社	本郷
9	有形文化財 (登録)	建造物	天竜浜名湖鉄道桜木駅本屋及び 上りプラットホーム	天竜浜名湖鉄 道株式会社	富部
10	有形文化財 (登録)	建造物	天竜浜名湖鉄道富部橋梁	天竜浜名湖鉄 道株式会社	富部
11	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅主屋	個人	伊達方
12	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅西長屋	個人	伊達方
13	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅東長屋	個人	伊達方
14	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅北土蔵	個人	伊達方
15	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅西土蔵	個人	伊達方
16	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅東土蔵	個人	伊達方
17	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅瓦小屋	個人	伊達方
18	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅納屋	個人	伊達方
19	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅北馬屋	個人	伊達方
20	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅南馬屋	個人	伊達方
21	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅長屋門	個人	伊達方
22	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅外堀	個人	伊達方
23	有形文化財 (登録)	建造物	鈴木家住宅内堀	個人	伊達方

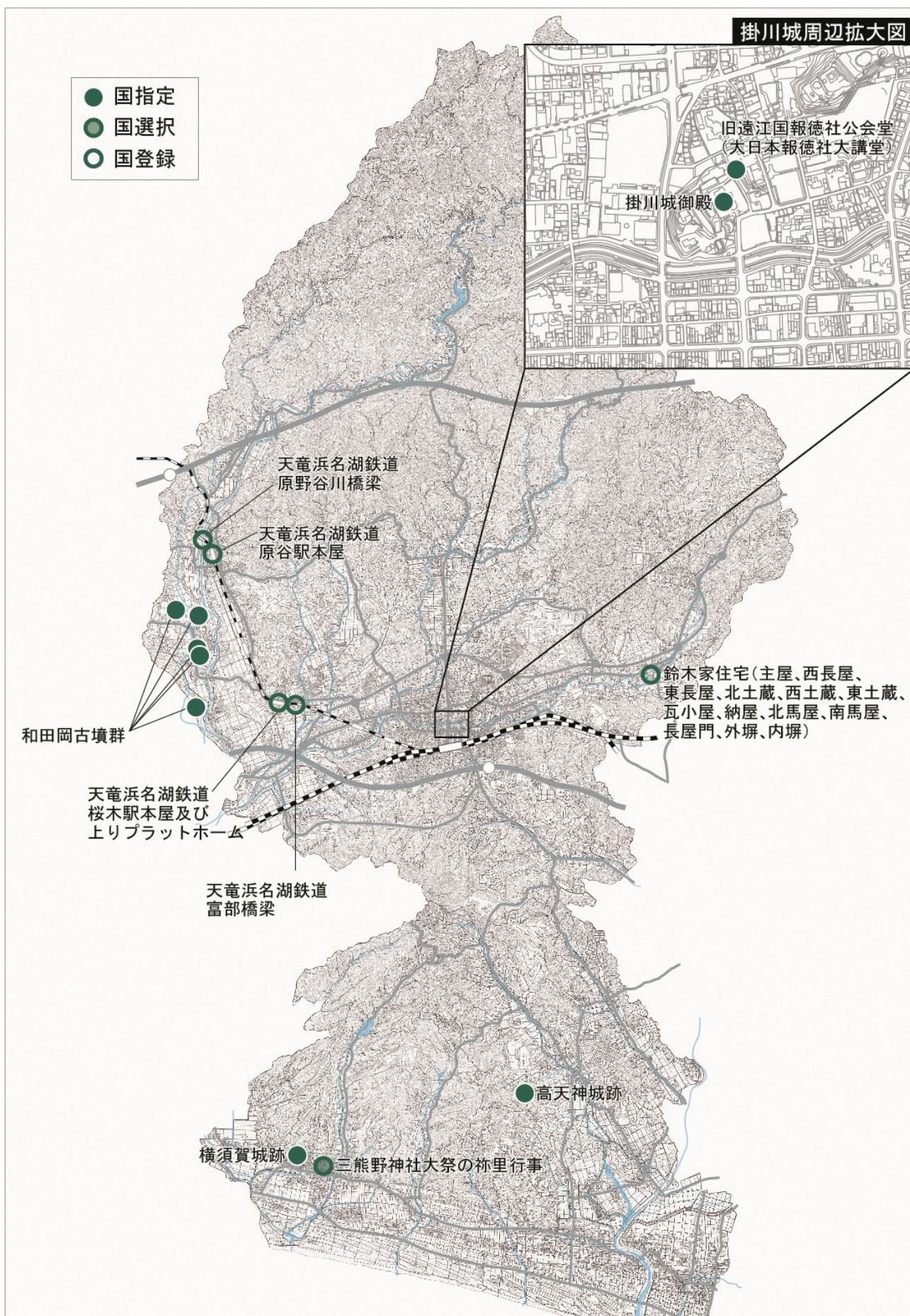


図 市内国指定・登録文化財位置図

表 市内の県指定文化財（令和 5 年 9 月現在）

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
24	有形文化財	建造物	龍華院大猷院霊屋 附春日厨子	龍華院	掛川
25	有形文化財	建造物	窓泉寺山門 附棟札	窓泉寺	西大淵
26	有形文化財	建造物	三熊野神社本殿	三熊野神社	西大淵
27	有形文化財	建造物	赤山神社本殿 附棟札 2、銘板 1	赤山神社	海戸
28	有形文化財	建造物	大日本報徳社淡山翁記念報徳図書館 附設計图案、絵葉書	大日本報徳社	掛川
29	有形文化財	建造物	大日本報徳社 正門	大日本報徳社	掛川
30	有形文化財	建造物	旧有栖川宮熾仁親王邸御座所及び侍女 部屋（大日本報徳社仰徳記念館及び 仰徳学寮）	大日本報徳社	掛川
31	有形文化財	建造物	旧遠江国報徳社第三館掛川事務所 （大日本報徳社冀北学舎）	大日本報徳社	掛川
32	有形文化財	工芸品	鰐口 応永十四年在銘	顕光寺	居尻
33	有形文化財	工芸品	刀銘 義助	個人	掛川
34	有形文化財	工芸品	刀銘 於南紀重国造	個人	掛川
35	有形文化財	絵画	松平遠江守定吉画像	真如寺	仁藤
36	有形文化財	絵画	紙本墨画揚柳観音像（1 幅）	貞永寺	大坂
37	有形文化財	絵画	紙本墨画臨済・百丈禅師像（2 幅）	貞永寺	大坂
38	有形文化財	絵画	紙本墨画達磨像（1 幅）	貞永寺	大坂
39	有形文化財	絵画	絹本着色真人図（1 幅）	撰要寺	山崎
40	有形文化財	絵画	村松以弘筆「白糸瀑図」	掛川市	掛川
41	有形文化財	絵画	三熊野神社絵馬（44 点）	三熊野神社	西大淵
42	有形文化財	絵画	黒田清輝作「岡田良一郎肖像」	大日本報徳社	掛川
43	有形文化財	考古資料	宇洞ヶ谷横穴墳出土遺物一括	掛川市	大坂他
44	民俗文化財	無形	獅子舞 かんからまち	かんからまち 保存会	掛川
45	民俗文化財	無形	三社祭礼囃子	三社祭礼囃子 保存会	西大淵
46	民俗文化財	無形	八坂神社の祇園囃子と祭礼行事	八坂神社祭典 保存会	中
47	民俗文化財	無形	三熊野神社の地固め舞と田遊び	地固め舞と田 遊び保存会	西大淵
48	記念物	史跡	撰要寺墓塔群	撰要寺	山崎
49	記念物	天然記念物	峯貝戸の大クワ	個人	東山
50	記念物	天然記念物	伊達方の大ヒイラギ	個人	伊達方
51	記念物	天然記念物	本勝寺ナギ・マキの門	本勝寺	川久保
52	記念物	天然記念物	中新井池のオニバス	財務省	大淵
53	記念物	天然記念物	阿波々神社の社叢	阿波々神社	初馬

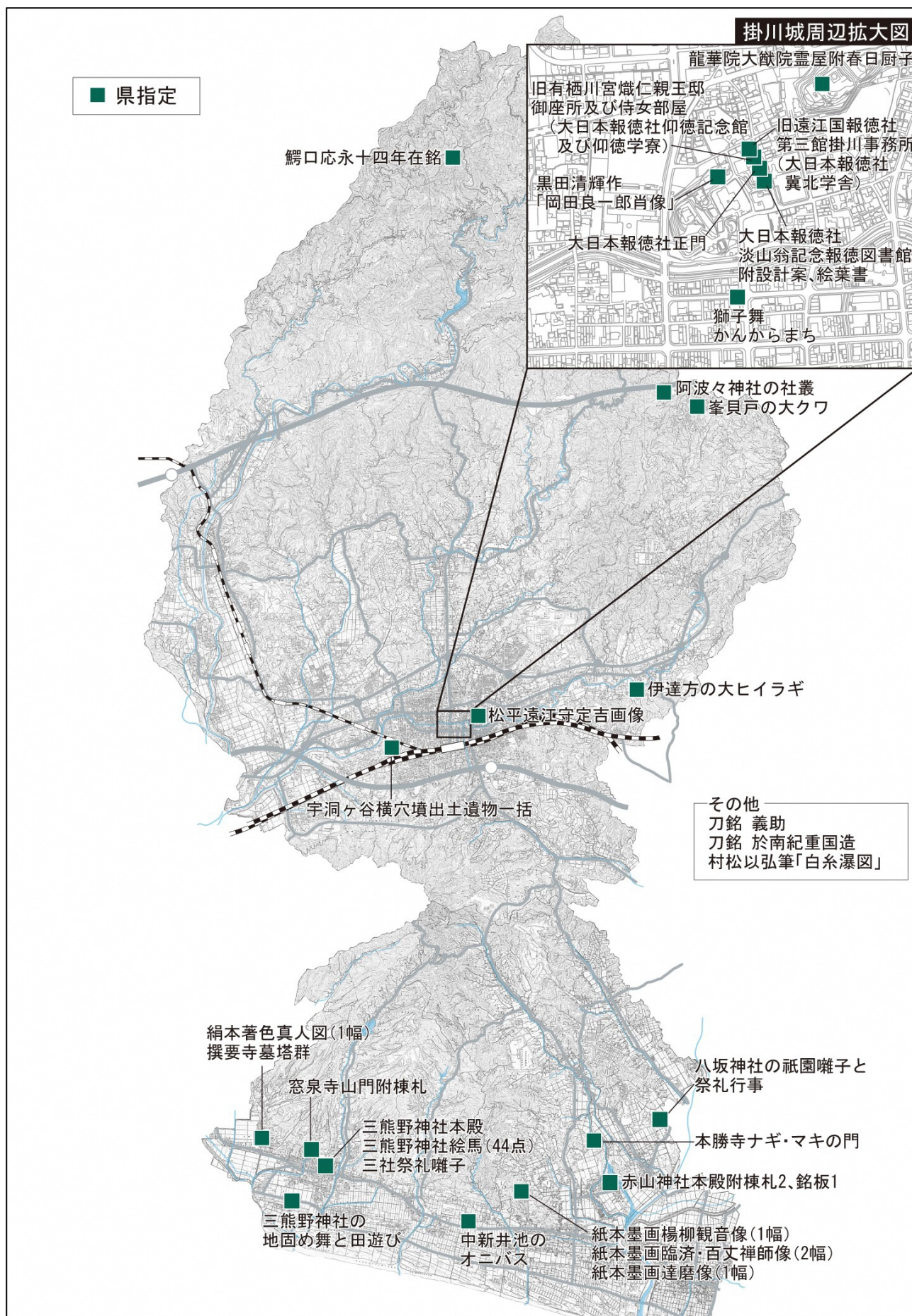


図 市内県指定文化財位置図

表 市内の市指定文化財（令和 5 年 9 月現在）

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
54	有形文化財	建造物	掛川城太鼓櫓	掛川市	掛川
55	有形文化財	建造物	掛川城露の門	円満寺	掛川
56	有形文化財	建造物	本源寺山門	本源寺	西大湊
57	有形文化財	建造物	横須賀城不開門	撰要寺	山崎
58	有形文化財	建造物	大手門番所	掛川市	城下
59	有形文化財	建造物	町番所	掛川市	西大湊
60	有形文化財	建造物	普門寺 弁財天堂	普門寺	西大湊
61	有形文化財	建造物	八所神社旧社殿	普門寺	西大湊
62	有形文化財	建造物	旧日坂宿旅籠「川坂屋」	掛川市	日坂
63	有形文化財	建造物	旧観音寺石塔「貞和二禩」の銘がある	法泉寺	上西郷
64	有形文化財	建造物	吉岡彌生移築生家	掛川市	下土方
65	有形文化財	建造物	貞永寺本堂	貞永寺	大坂
66	有形文化財	建造物	ゲイスベルト・ヘンミィ墓	天然寺	仁藤町
67	有形文化財	建造物	竹の丸（旧松本家住宅）主屋 1 棟、離れ 1 棟、土蔵 2 棟、米倉 1 棟、番屋 1 棟	掛川市	掛川
68	有形文化財	建造物	旧日坂宿旅籠「川坂屋」茶室	掛川市	日坂
69	有形文化財	建造物	松ヶ岡（旧山崎家住宅）	掛川市	南西郷
70	有形文化財	絵画	村松以弘筆「青緑董法山水」	掛川市	掛川
71	有形文化財	絵画	涅槃図	常現寺	日坂
72	有形文化財	絵画	本勝寺七面堂野賀岐山画	本勝寺	川久保
73	有形文化財	絵画	大久保一丘筆「鶴図」（4 面）	蓮舟寺	西大湊
74	有形文化財	彫刻	高麗神社 伎楽古面	高麗神社	大湊
75	有形文化財	彫刻	三熊野神社 天狗の面	三熊野神社	西大湊
76	有形文化財	彫刻	三熊野神社 狛犬	三熊野神社	西大湊
77	有形文化財	彫刻	本勝寺本堂 立川流彫刻	本勝寺	川久保
78	有形文化財	彫刻	本勝寺七面堂 立川流彫刻	本勝寺	川久保
79	有形文化財	工芸品	盛岩院 鰐口	盛岩院	岩滑
80	有形文化財	工芸品	萩間八幡宮 鰐口	萩間八幡宮	萩間
81	有形文化財	工芸品	大原子神社 鰐口	大原子神社	伊達方
82	有形文化財	工芸品	本勝寺七面堂厨子	本勝寺	川久保
83	有形文化財	書跡・典籍	有栖川宮熾仁親王書跡	個人	千浜
84	有形文化財	書跡・典籍	掛川城絵図	掛川市	掛川
85	有形文化財	書跡・典籍	掛川城御殿古図	個人	仁藤
86	有形文化財	書跡・典籍	掛川城御殿古図	掛川市	掛川
87	有形文化財	古文書	旧掛川宿問屋職鈴木家文書	掛川市	大坂
88	有形文化財	古文書	横須賀惣庄屋覚帳	掛川市	大坂
89	有形文化財	古文書	横須賀城関係記録	掛川市	大坂
90	有形文化財	古文書	長松院古文書	長松院	大野

番号	種類	種別	名称	所有者 (管理者)	所在地
91	有形文化財	古文書	永源寺古文書	永源寺	各和
92	有形文化財	古文書	横須賀城下町絵図など 45 点	掛川市	大坂
93	有形文化財	考古資料	横須賀城の鯪瓦・鬼瓦	恩高寺	西大湊
94	民俗文化財	有形	獅子頭	紺屋町区	掛川
95	民俗文化財	無形	紺屋町木獅子の舞 附 太鼓 1、鉦 5	紺屋町木獅子 の舞保存会	紺屋町
96	民俗文化財	無形	大湊のさなぶり	大湊地内 8 区	大湊
97	民俗文化財	無形	垂木の祇園祭	垂木の祇園祭 保存会	上垂木・下 垂木・富部
98	記念物	史跡	キリシタン燈籠	大日寺	南 2 丁目
99	記念物	史跡	久延寺境内	久延寺	佐夜鹿
100	記念物	史跡	十内塚	静岡県	西大湊
101	記念物	史跡	城主井上氏の墓塔	本源寺	西大湊
102	記念物	史跡	城主西尾氏の墓塔	龍眠寺	西大湊
103	記念物	史跡	刀工高天神兼明屋敷跡	個人	中
104	記念物	史跡	清明塚	浜地区	大湊
105	記念物	史跡	佐夜鹿一里塚	個人	佐夜鹿
106	記念物	史跡	平塚古墳	観音寺、個人	上西郷
107	記念物	史跡	東登口古墳群（6 基の内 5 基）	個人	吉岡
108	記念物	天然記念物	興禅庵マキの自然門	興禅庵	岩滑
109	記念物	天然記念物	事任八幡宮の大スギ	事任八幡宮	八坂
110	記念物	天然記念物	垂木の大スギ	六所神社	上垂木
111	記念物	天然記念物	高天神追手門跡スギ	高天神社	上土方嶺向
112	記念物	天然記念物	小笠神社参道スギ	小笠神社	入山瀬
113	記念物	天然記念物	今瀧寺イヌマキ 2 本	今瀧寺	今滝
114	記念物	天然記念物	今瀧寺ソテツ 2 本	今瀧寺	今滝
115	記念物	天然記念物	春日神社クスノキ	春日神社	中方
116	記念物	天然記念物	満勝寺イチョウ	満勝寺	中
117	記念物	天然記念物	永福寺イヌマキ	永福寺	千浜
118	記念物	天然記念物	本勝寺カヤ 2 本	本勝寺	川久保
119	記念物	天然記念物	事任八幡宮のクスノキ	事任八幡宮	八坂
120	記念物	天然記念物	居尻のイスノキ	個人	居尻
121	記念物	天然記念物	松葉のカヤ	個人	倉真
122	記念物	天然記念物	秋葉路のモッコク	秋葉路区	秋葉路
123	記念物	天然記念物	如意庵のソテツ	龍眠寺	西大湊

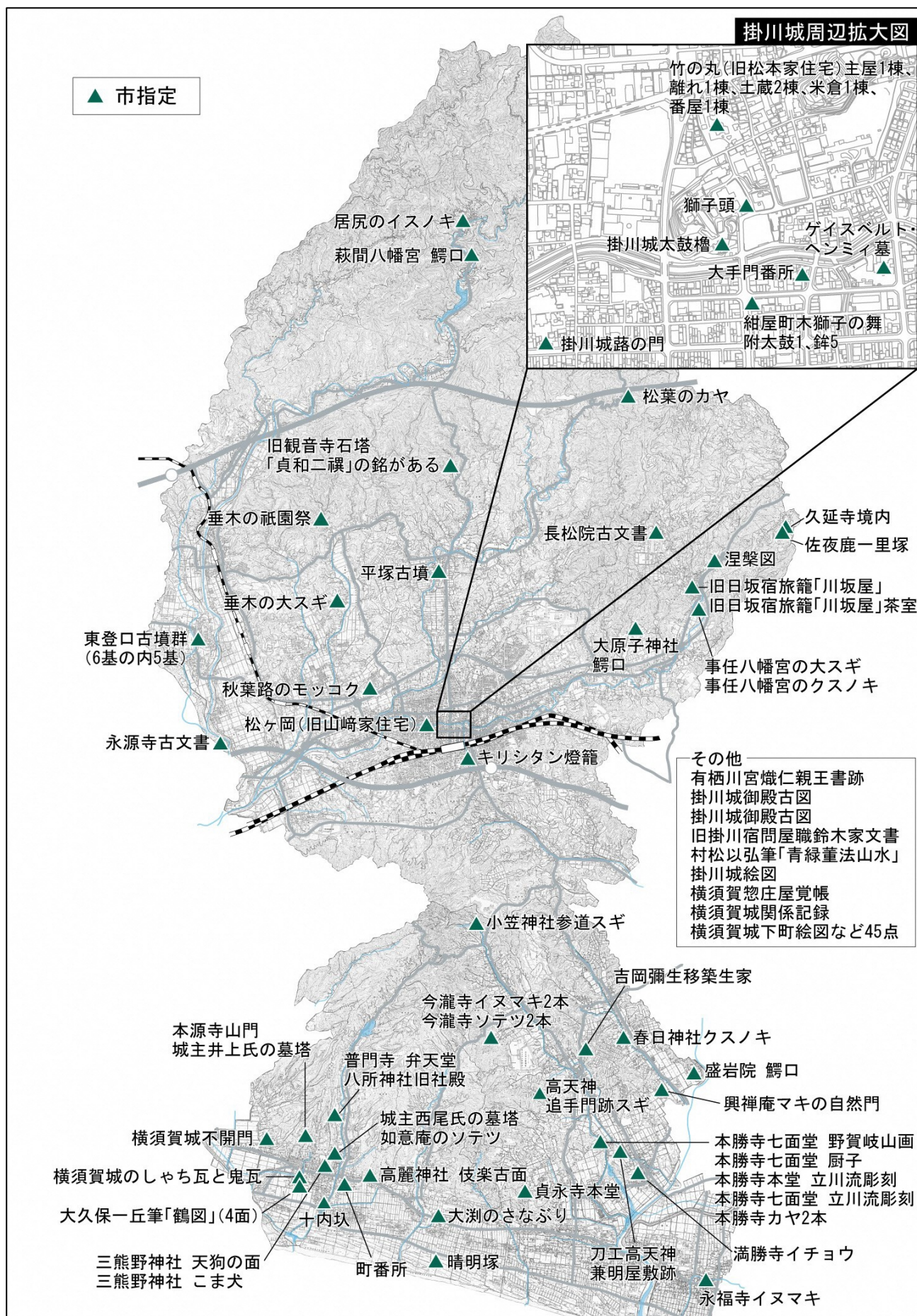


図 市内市指定文化財位置図

資料 4 掛川市の歴史年表

時代	掛川のできごと		日本のできごと	
旧石器時代		掛川最古の人類が使用した石器が発見される		
縄文時代		川沿いの小高い場所に集落がつくられる		
弥生時代		稲作が始まる 高田遺跡などから米が発見される	239 年	卑弥呼が中国に使いを送る
古墳時代		和田岡古墳群が築造される 宇洞ヶ谷横穴、堀之内 13 号墳がつくられる	4 世紀	大和王権の統一が進む 前方後円墳、円墳が築造される
飛鳥時代			592 年	厩戸皇子が即位する
			593 年	聖徳太子が摂政になる
			645 年	大化の改新
奈良時代	755 年	丈部黒当、生玉部足国が、防人として九州に行く このころ清ヶ谷古窯群で遠江国分寺の瓦が焼かれる 六ノ坪遺跡に役所または寺院がつくられる	710 年	平城京（奈良）に都を移す
			752 年	東大寺の大仏が完成する
平安時代	940 年	乱をおこした平将門以下 19 人の首を市内十九首に葬る (伝承)	794 年	平安京（京都）に都を移す
			11 世紀	藤原氏の全盛時代を迎える
			1167 年	平清盛が太政大臣になる
鎌倉時代		このころ天皇家や大きな寺院を領主とする荘園が広がり、原氏や内田氏などの地方武士が荘園の中でしだいに力をつけていく	1185 年	源頼朝が守護・地頭の設置を認められる
			1274 年	文永の役
			1281 年	弘安の役
			1333 年	鎌倉幕府が滅びる
			1334 年	建武の新政が行われる
室町時代	1500 年	このころ朝比奈泰熙が、掛川古城をつくる	1338 年	足利尊氏が征夷大將軍となる
	1513 年	朝比奈泰能が、掛川城を今の場所に移す	1467 年	応仁の乱が起こる
	1568 年	徳川家康が、今川氏真、朝比奈泰朝がこもる掛川城を攻める	1543 年	鉄砲が種子島に伝わる
	1572 年	このころ和田岡地区吉岡原に茶の種子を播いたのが掛川茶の始まりとされている	1573 年	室町幕府が滅びる
(戦国時代)	1574 年	武田勝頼、高天神城を攻め開城させる		
	1578 年	徳川家康、横須賀城築城を大須賀康高に命じる		
	1579 年	徳川家康は高天神城奪還のための六砦を築きはじめる		
	1580 年	横須賀城が完成		
	1581 年	徳川家康による高天神城攻めにより、武田軍が敗れる		
安土桃山時代	1588 年	このころ横須賀城下まちづくりが始まる		
	1590 年	山内一豊が、掛川城主になる	1590 年	豊臣秀吉が天下を統一する
	1601 年	掛川宿、日坂宿が東海道の宿として整備される		
	～			

時代	掛川のできごと		日本のできごと	
江戸時代	1634 年	『百姓伝記』が書かれる	1600 年	関ヶ原の戦いが起こる
	1767 年	このころ甘藷づくりが始まる	1603 年	徳川家康が征夷大將軍となり江戸に幕府を開く
	1805 年	このころ太田資愛が『掛川誌稿』の編集を始める	1604 年	東海道の一里塚が整備される
	1811 年	横須賀藩学問所「修道館」が設立される	1635 年	参勤交代制度ができる
	1848 年	倉真村の庄屋岡田佐平治が、村内に報徳社をつくる	1639 年	鎖国が完成する
			1716 年	享保の改革が始まる
			1787 年	寛政の改革が始まる
			1841 年	天保の改革が始まる
明治時代	1868 年	掛川藩主太田資美、横須賀藩主西尾忠篤が、領地を新政府に返す	1871 年	廃藩置県
	1873 年	市内に学制に基づいた小学校が開校する	1872 年	学制が發布される
	1877 年	岡田良一郎が、倉真に冀北学舎をつくる	1872 年	新橋・横浜間に鉄道が開通する
	1880 年	杉本権蔵らが、金谷宿と日坂宿を結ぶ日坂「中山新道」をつくる	1889 年	大日本帝国憲法が發布される
	1889 年	東海道本線が開通し、掛川駅がつくられる	1894 年	日清戦争が始まる
	1895 年	上内田の青田隧道がつくられる	1904 年	日露戦争が始まる
	1897 年	このころから掛川の葛布がアメリカやヨーロッパにさかんに輸出されるようになる		
大正時代	1914 年	軽便鉄道（中遠線）新袋井－新横須賀間が開業	1914 年	第一次世界大戦が始まる
昭和時代	1935 年	二俣線の掛川・森町の間が開通する（昭和 15 年に全線が開通する）	1931 年	満州事変が起こる
	1944 年	東南海地震が起こり、大きな被害を受ける	1937 年	日中戦争が始まる
	1945 年	掛川が、空襲の被害を受ける	1941 年	太平洋戦争が始まる
	1951 年	国道 1 号が完成する	1945 年	太平洋戦争が終わる
	1967 年	軽便鉄道（中遠線）廃止	1964 年	東海道新幹線が開業する
	1972 年	大井川右岸用水が完成する		東京オリンピックが開催される
	1975 年	高天神城跡が国の史跡に指定される	1969 年	東名高速道路が開通する
	1976 年	大東町文化財保護条例施行		
	1977 年	大須賀町文化財保護条例施行		
	1978 年	掛川市文化財保護条例施行		
	1979 年	旧掛川市が全国初の「生涯学習都市宣言」を行なう		
	1980 年	掛川城御殿が国の重要文化財に指定される		
	1981 年	横須賀城跡が国の史跡に指定される		
	1988 年	東海道新幹線掛川駅が開業する		
平成時代	1993 年	東名高速道路掛川インターチェンジが完成する	1995 年	阪神・淡路大震災が発生する
	1994 年	掛川城天守閣が復元される	1998 年	長野オリンピックが開催される
	1996 年	和田岡古墳群が国の史跡に指定される		

時代	掛川のできごと		日本のできごと	
	2005 年	掛川市・大東町・大須賀町が合併する	2002 年	FIFA ワールドカップが日本・韓国で開催
	2009 年	大日本報徳社大講堂が国の重要文化財に指定される		
	2013 年	中東遠総合医療センター開設 「掛川市自治基本条例」が施行される 「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に認定される	2011 年	東日本大震災が起こる
			2012 年	新東名高速道路が開通する
令和時代	2020 年	内閣府の SDGs 未来都市に選定される	2020 年	新型コロナウイルス感染症の流行
			2021 年	東京オリンピック・東京パラリンピックが開催される